

労働環境を劇的に改革し 従業員待遇を実現したメソッド

株式会社ロタンティック 代表取締役 関本 祐二氏



専門学校卒業後、都内の有名フランス菓子店での修業を皮切りに長野県や神奈川県そして本場フランスで延べ13年間に渡りフランス菓子の修行と研究を重ね、2013年9月に南浦和で念願の店舗を開業しました。開業当初から従業員と頑張ってきましたが、百貨店の催事がきっかけとなり、経営も徐々に上向きはじめました。現在は厳選した原材料に拘り、ケーキなどの生菓子をはじめ、タルトや焼き菓子そしてチョコレートなどを販売しています。

働き方改革への着手

創業当初、想定以上に店舗認知が進まず売上の低迷に悩んでいました。しかし、都内百貨店の催事をきっかけに、SNSを通じて知られるようになり、次第に店が忙しくなってきました。開業5年目は、現在とほぼ同等の従業員数で、今の売上規模の半分以下だったにも関わらず、とにかく忙しい状態が続いていました。特に開業当時は慢性的に朝6時から夜9時まで働き、休みは週1回、残業手当も出せない従業員待遇の悪い状況でした。そのような最中、青木信用金庫から財団の専門家派遣を紹介いただき、中小企業診断士の先生に商品アイテム数の削減や作業内容に関する助言を頂き、改革することができました。その結果、週休2日、勤務日の労働時間も3時間短縮でき、社会保険や残業代も払える企業に劇的に変化しました。

値上げは「善」

忙殺される日々が続いていた開業5年目頃は、利益を出せない状態が続いていました。例え売上が上がっても、このままでは従業員に対し十分な処遇をしてあげられない状況でした。一刻も早くこの状況を脱し、従業員が安心して働ける職場環境を作るための原資を稼ぐ改革に着手しました。最近では、昨今の情勢を理由に「値上げ」が行われていますが、当時、値上げに手をつけることは顧客離れを起こすと思われ、大変勇気のい

ることでした。それでも「真に美味しいフランス菓子」を提供するために「妥協のない原材料選びと手間暇」は、むしろ安すぎる価格設定であると考えを改め、値上げを断行しました。結果、顧客離れを一切起こすことなく、現在まで順調に売上を伸ばし、粗利益率は5%以上改善したことで高い収益性を確保できる企業に発展することができています。



▲落ち着いた雰囲気と品のある売場

▲選り抜かれた原材料を使った見た目も美しい映えるケーキ類

支援金融機関

First Call Shinkin Bank 地域一番の金融サービスを目指して

創業時の融資取引から、当店をメインバンクとしてご利用いただいています。財団へは、従業員の長時間労働について相談があり、成長支援事業をご案内しました。専門家のアドバイスによりオペレーションや値付けの見直しを行い、営業時間



の短縮や定休日を増やしたにも関わらず、売上が増加し、働き方改革だけでなく収益にもつながりました。その後、法人成りや代取のマイホーム購入についても相談いただき、個人の資産形成にも貢献することができたと思います。

◀青木信用金庫 南浦和支店
支店長代理 山崎 健二氏

プロフィール：株式会社ロタンティック

【所在地】さいたま市南文蔵2-29-19 KSマンション文蔵1F

【設立年月】2013年9月

【事業内容】洋菓子製造・販売(フランス菓子中心)

☎ 048-839-8227

URL <https://lauthentique2013.com/>